



通所体験教室『あうる』



札幌報恩会では、例年、中学校と高校の夏・冬休みの期間を利用し、「通所体験教室 あうる」を行なっています。中学生や高校生の皆さんに、3日間という短い期間ではありますが、学校とはまた違う楽しさを体験していただければと思い、今期も1月6日(水)～8日(金)で開催しました。どのような活動を行なったのかをご紹介します。



1日目 1月6日(水) 開所式では、少し緊張した面持ちの方、以前にも参加されていてすっかりリラックスしている方の13名が元気に自己紹介をしました。事業所紹介では、スライドを利用し、真剣に見てくれました。その後、お天気も良かったので、数名ずつ散策も兼ねて、敷地内を回ってきました。自分がどこの作業班に行くか気になっていた方もいたようです。午後は羽子板とマラカスの製作に取り組み、皆さん思い思いに模様やイラストを描いたり、シールを張るなどして大変個性あふれた作品となりました。

2日目 1月7日(木) 午前のおやつ作りでは、焼きドーナツに挑戦！。

初めてお菓子作りをするという男の子は、積極的に「僕やります！」と生クリームをホイップさせてくれたり、「ドーナツって揚げなくても出来るんだね！」と少し驚いたり…まーるいドーナツらしい形から大胆な形まで、焼き上がりが楽しみになっていました。昼食ではお互いに少し慣れてきたようで、お話をし合う姿もありました。午後は各作業班に分かれ、椎茸班・下請



班・ワークショップ班・リサイクル班・ラベンダー班での活動に参加しました。椎茸の菌床運びやお菓子の箱折り、割箸の袋入れ、ペットボトルのリサイクル作業、ピース通しやパズルなど色々な体験をしてきました。作業は少し早目に切り上げ、フルーツとホイップをトッピングし、みんなで焼きドーナツを食べました。あっという間に食べ終わった方もいて、職員も驚きました。



3日目 1月8日(金) 午前は前日と同じ作業体験でしたが、作業場への移動にも戸惑わず、どの方も意

欲的に参加されたようです。「この椎茸はどこで売っているのですか？」の質問や、「この椎茸おいしそう！」なんて声もありました。午後は初日に製作した羽子板でゲームを行ない、うまく遠くまで飛んだり、後ろに飛ばしてしまったり、空振りしても大笑いして大変盛り上がりました。ゲームの後はみんなで「さんぽ」等の曲に合わせマラカスで演奏しました。知っている曲が多く、体を揺らして音楽を楽しんでいる様子も伺えました。閉所式では3日間の活動のアルバムと製作した羽子板とマラカスを一人ひとりに手渡され、笑顔であうるを終えることが出来ました。

